

辺野古土砂北九州・ミニニュース

辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会《2019年6月28日・No77》
連絡先…森下 090-9495-3902 南川 090-2853-7116 八記 080-1730-8895
kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp



奄美大島で土砂全協第6回定期総会

5月25日(土)・26日(日)、奄美大島において、土砂全協の第6回定期総会が開かれ、辺野古土砂北九州からは4名が参加しました。

この日は、東京を中心に各地で「辺野古ストップ」の大きな集会が開かれており、全体会は、その全国統一行動の一環として開かれました。

以下、新年度の方針・役員・参加者の感想を掲載します。



視察の最後に行った美しいアヤマル岬にて
左から、北九州の大野・松本・八記・野田

《方針》

- ① 今総会を全国総行動の一環と位置付ける
- ② 沖縄県の土砂条例改正の陳情活動の継続
- ③ 新署名「STOP HENOKO」請願署名の第一次提出と防衛省・環境省交渉
- ④ 搬出県への要望行動の継続・各県で外来生物対策に関する条例制定活動
- ⑤ 全国地方自治体会議への「辺野古工事中止」意見書採択の陳情・請願
- ⑥ 辺野古土砂問題の視点から、地域での様々な運動との連携を

《人事》

共同代表…阿部悦子(愛媛・再)、大谷正穂(山口・新)、生駒研二(熊本・新)
事務局長…松本宣崇(岡山・再)
事務局次長…八記久美子(福岡・再)
会計監査…五寶光基(大阪・再)、野田恵美(福岡・再)
顧問…湯浅一郎(東京・再)、北上田毅(沖縄・再)、向井宏(京都・再)、
末田一秀(兵庫・新)、大津幸夫(鹿児島・新)



辺野古へ土砂搬出予定の採石場と、全体会で歓迎の踊りを披露された、退職教員のみなさん。



第6回定期総会 in 奄美に参加して

辺野古土砂北九州 会員 松本秀樹

5月25日、早朝より自宅から車を飛ばし、福岡空港へ北九州土砂協の仲間に会いほっとしました。

奄美大島は初めて、大島紬ぐらいしか知らないところへ行く不安と逆に興味が深まって来た中で飛行機に乗り、現地の奄美空港からバスで約40分総会の奄美サンプラザホテルへ10:00より総会に参加。この1年間の活動報告があった。私が特に興味を感じた「鹿児島県外来種対策条例をどう活かすか」講演者：末田氏が提起、運動の一つの検討課題ではないでしょうか。印象深く聞き入りました。条例に①搬出県は立入調査条項②必要な事項について報告を求めることが出来る)提案、やはり外来種対策の実効性のある条例が求められる内容としたこと。

総会后引き続き「辺野古新基地建設阻止・奄美地区総決起集会」を開き①城村(奄美の自然と基地問題)・湯浅(九州沖縄の海砂採取)・北上田(辺野古に基地は造れない)各氏の講演。参加者全員で「団結がんばろう！」で終了後、夕方全体交流会で各地域の参加者の紹介、グループによる三線での歌声で盛り上がり全員で踊りだし、交流が深まりました。

26日、貸切バスで自衛隊の駐屯地2か所(瀬戸内町節子駐屯地・名瀬大熊駐屯地)どちらも山の上で人目に入らない様な場所。弾薬が積める車両とミサイルが発射出来るような設備・建屋が広大な敷地に設置された所を目にした。何処に向けて警戒目標としているのか。少なくとも米軍と一緒に中国の艦船動向を警戒し攻撃も視野にしているのではないかと。一発即発の危機が起きたらと思うと恐ろしいことだ。土砂採石場にも行き無残な山の姿に怒りが込上がる。

日頃、私達の知らない所で着実に軍事基地が日本に出来ている。私は福岡の安保法制違憲訴訟の原告の一人です。この状況を視るにつけて、さらにこの訴訟の重要性を感じ頑張らなければと再度確認することが出来ました。

辺野古土砂反対全国連絡協議会総会に参加は昨年沖縄の総会から2回目の参加です。沖縄、奄美大島で頑張っている仲間の姿に魅せられています。私はこの総会・視察に参加するたびに国の軍事要塞化を許さない気持ちが高揚します。しかし、歴大な国の軍事化政策に対して戦うにはどの様に多数の人に、この現状を知らせることが重要かと思いながら福岡に帰ってきました。

次回も参加したい気持ちが膨らんで来ました!! 総会・視察を準備された多くの仲間の皆様に感謝します。



瀬戸内町節子駐屯地